

第5回長野市社会福祉審議会児童福祉専門分科会 議事要旨

○開催日時 平成26年3月28日(金) 午後1時30分から3時30分まで

○場 所 会議室19(市役所第二庁舎10階)

○出席委員 分科会委員15人のうち次の13人が出席した。

	松田 光平	市議会議員
	上村 恵津子	信州大学教授
(会 長)	塚田 和子	教育委員
(副会長)	海野 英順	長野市私立保育協会会長
	小林 康夫	長野市幼稚園連盟会長
	角田 則男	長野市児童館館長・施設長会会長
	玉川 吉彦	長野市民生児童委員協議会 児童・母子(父子)部会長
	和田 勇造	(財)長野県児童福祉施設連盟役員
	小林 栄美子	長野市幼稚園連盟 東長野幼稚園保護者
	古川 麻梨	長野市私立保育協会 吉田保育園保護者
	小野 道子	公募委員
	竹内 啓子	公募委員
	西澤 美恵子	公募委員

(欠席者) 次の2人

	石井 まゆみ	公立保育園園長会 柳町保育園保護者
	坂本 一枝	長野市母子寡婦福祉会役員

○出席事務局 21人

○傍聴者 2名

発言者	内 容
事務局	<p>1 開 会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公開であることを確認 ・新規委嘱委員の紹介（玉川委員）
会長	<p>2 あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分科会会長あいさつ
事務局	<p>3 議 事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料確認
事務局	<p>（1）教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1に基づき説明
委員	<p>《各委員からの質問・意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P4の提供区域の推計児童について、ア長野市将来人口推計というのは、長野市全体のものですか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・そうです。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・地域によって子どものバランスというのは違うのではないのでしょうか。例えば、児童数が増えている篠ノ井地域と、保育園を休園にするような大岡地域のようなところがあり、市全体の割合で算出するには無理があるのではないのでしょうか。各地域の現在の人数が把握できているのでしょうか、それを基に推計してはどうでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・イに示しているのは、①区域における児童数の割合となっています。推計にあたっては、区域ごとの年齢別構成割合（平成22年度～平成25年度の平均値）により推計しています。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・おっしゃることは何となくわかります。ただ、その地区の現在の0歳児の人口は分かっていると思いますので、1年後の1歳児の人口は自動的に出てくるのではないのでしょうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・団地がたくさん建設されている状況のなかで、過去の実績割合をそのまま将来に当てはめていいのか、ということが問題視されるのではないかと思います。その誤差がどのくらいなら許容範囲なのか。例えば、推計値において5人、10人の違いが整備計画にどの程度影響があるのか、ということではないのでしょうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・確認ですが、ここには例として①区域の割合が示されていますが、12区域あるので、区域ごとにこの割合が違うということではよろしいでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・その通りです。たとえば、①区域の0歳児の割合が4.5%となっていま

	<p>すが、この数値は市全体の0歳児数に対する①区域の0歳児数の割合を示していますので、12区域の割合を足せば100%になります。また、団地建設の影響等については、まずは全市統一した考え方で各区域の児童数を推計したうえで、急激な開発や人口流入等などの特殊要因につきましても、別な考え方で入れ込んでいく必要があると考えています。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・区域ごとの量の見込みを算出して計画を立てていくことはよいことだと思いますが、過去には児童数の増減に見合わない保育所整備がなされてきた経緯もありますので、算出した結果をいい形で生かしていただきたいと思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは統一的な計算式で算出してみて、特殊要因はその後に加味していきたいと思います。この計画は5年後に見直すことになっており、5年後には現在の数値と5年後の見込みを比較していくこととなりますので、その意味でも統一した計算式で算出した見込み量をベースとして作成したいと考えています。また、次回以降に、算出された量の見込みに対してどのように確保していくかという確保方策を検討していただきたいと考えています。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・他にご意見はございますでしょうか。特になければ、この件につきましては本案をもって決定としたいと思います。特殊要因につきましては5年後の見直しの際に加味していくということをお願いします。
事務局	<p>(2) 事業計画の構成(案)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料2に基づき説明
委員長 委員	<p>《各委員からの質問・意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォントなどもう少し見やすく工夫できないものかと思います。 ・P6の地域子ども・子育て支援事業の状況について、ここに記載しているものは事実上進んでいるものと理解してよろしいのでしょうか。中には計画のものもあるのでしょうか。というのも、放課後児童健全育成事業について、昨年度より延長利用というのがはじまりましたが、その検討過程で、例えば18時までは放課後子どもプランで預かり、18時以降はファミリー・サポート・センターに委託することができないか、という議論がありました。その時は、所管部署が違うのでなかなか難しいというようなことでしたが、来年度からこども未来部ということで一元化されますので、今後の取組としてそういうことも考えていただきたいと思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・P6につきましては、長野市の子どもを取り巻く状況ということで現状について記載しています。今のようなお話につきましては、P18以降に

事務局	<p>記載していくことになろうかと思ひます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月からこども未来部ということで教育委員会と現在の保育家庭支援課が一元化されますので、当然一つの方向性をもって、ご提案いただいたことも検討してまいります。他の事業についても今後の方向性をお示しし、ご意見をうかがうなかで修正していくことになろうかと思ひます。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで往々にして縦割りの感じがしていました。今度は同じ部になりますので、横のつながりをよくし、長野市の子ども全体のための施策を検討し、自分たちの領域争いのような感覚を覚えるような取組をしていただかないように強く要望します。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会だけでなく、これまで商工観光部が実施していた企業に対する働きかけ等についても、子どもに関わる部分についてはこども未来部に一元化して実施していきたいと考えています。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども・子育て支援事業計画の目的として、量的な拡充と質的な改善の2つが大きな柱となっています。教育・保育施設と地域子ども・子育て支援事業それぞれについて、量の確保と質の向上の両輪でこの計画書はできているということになります。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の会議でも量の確保と質の向上の両輪であることの説明があったかと思ひます。その方向性に基づき、今回の骨子案が構成されていることをもっと前面に出されていてもいいように思ひます。また、過去にこういう使いづらさがあったものを、どのように改善していくというのがわかりやすくなると、地に足がつくのではないのでしょうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・計画全体が保育園あたりが中心となっていて、子育てということという、もう少し大きくなった子どもに対する施策がなさすぎるという感想です。障害の対策や広域の部分、県と関係について、母子についてなど、若干抜けているのではないかと感じました。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・関連して、幼・保・小の連携がありますが、小中の連携についても関連施策にもってくるべきではないかと思ひます。また、発達障害についても社会問題となっていますので、項目を別にしてもいいのではないかと感じました。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・就学後18歳までの子どもにつきましてもこども未来部が担当していきますが、今回の計画については主に就学前児童を対象としていますので、追記として最後に記載していくことはできると思ひますが、全体に盛り込んでいくことは難しいのではないかと感じています。検討してまいります。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・計画のタイトルが「子ども・子育て支援事業計画」となっています。こども未来部としてこれからこれをもとに施策を推進していくというイメージになってしまうと、就学前だけでは不足しているような印象を受けてしまいます。

事務局	・前書きで説明するなり、後段に施策を盛り込むなど検討していきたいと思えます。
委員	・P17の教育・保育の質の向上について、保科保育園の園長が3年間毎年変わりました。いずれの先生も残念がって異動されています。保科だけのことなのか長野市全体がそういう傾向かわかりませんが、これは長野市の方針なのでしょう。
事務局	・一般的には園長職は2年くらい、その他は3年くらいでの異動となっていますが、昨年、今年は園長職の退職が多かったという特殊要因がございます。公立ですから基本的には保育方針・運営方針は共通でやっていますので、きっちり引き継ぎをし、子どもや保護者の方に不安を与えないようにしていきたいと考えています。
委員	・3年間続けてというのはいかがなものかと思ひ、発言させていただきました。そのような方針であればきちんと運用していただけたらと思ひます。
事務局	・委員さんのご意見はごもっともだと思ひますので、人事配置をするなかで考えていきたいと思ひます。
委員長	・来年度、このイメージを具体的にしていく時期の見通しを教えてください。
事務局	・素案という形でお示しするのは9月前を予定しており、11月前後にはパブリックコメントを実施する予定となっています。
事務局	<p>(3) その他</p> <p>・追加資料「長野市公立保育所の民営化に伴う施設移管等の考え方について」を配布し、資料に基づき説明</p> <p>《各委員からの質問・意見》</p>
委員	・川田保育園の民営化について、保護者会や地域で反対運動がありました。民営化されて問題が起きていない、むしろプラスの方向に働いた、というのが私の感想です。今後も、子どものためになるような民営化にしていきたいと思ひます。
事務局	・民営化をしてよかったという声を聞いております。今後も公立と私立がお互いに切磋琢磨し、よりよい保育を提供できるようにしていきたいと思ひます。
委員長	・本案件について、お認めいただけますでしょうか。 (異議なし)
委員	<p>4 その他</p> <p>・発言された方がどなたかわかるように、名札の裏にも名前をいれていた</p>

	<p>だけたらと思います。</p> <p>5 閉会</p> <ul style="list-style-type: none">・保健福祉部長あいさつ <p style="text-align: right;">以上</p>
--	---